

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

# さわらび

- 1 **表紙** 秋陽展 写真部門 入選  
「真夏の夜の煌めき」藤井 岳さん(フェリス福祉村職員)
- 2 **医学  
講話** 災害医療(2)  
◆福祉村病院医局長 谷 さゆり
- 6 **特集** 秋陽展 優秀作品 誌上作品展

2023 **12**  
vol.608



# 医学講話

福祉村病院医局長

谷 さゆり



## 災害医療(2)

### はじめに

前回は明治10年から始まった日本における災害医療の歴史と平成7年1月に発生した阪神淡路大震災で傷病者を速やかに被災地外に搬送し緊急手術や緊急透析などの通常の急性期医療が行えていれば500名以上救命できたと言われ、これがきっかけとなり「防ぎ得た災害による死亡」を減らす事を目標に発災後の救命医療を担う災害医療派遣チームDMMAT (Disaster Medical Assistance Team) が平成17年に創設された事をお話いたしました。今回はDMMATについてお話してゆきます。

### DMMATとは

大地震や航空機・列車事故といった災害時に被災者の命を守るため被災地に迅速に駆け付け救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療のチーム。1チームは4〜6人。チームが集まり明確な指揮命令系統により組織的に活動する。現在ではすべての災害拠点病院にDMMATが配置されている。

### DMMATの派遣

通常時に都道府県と医療機関等の間で締結された協定及び厚生労働省、文部科学省、都道府県、独立行政

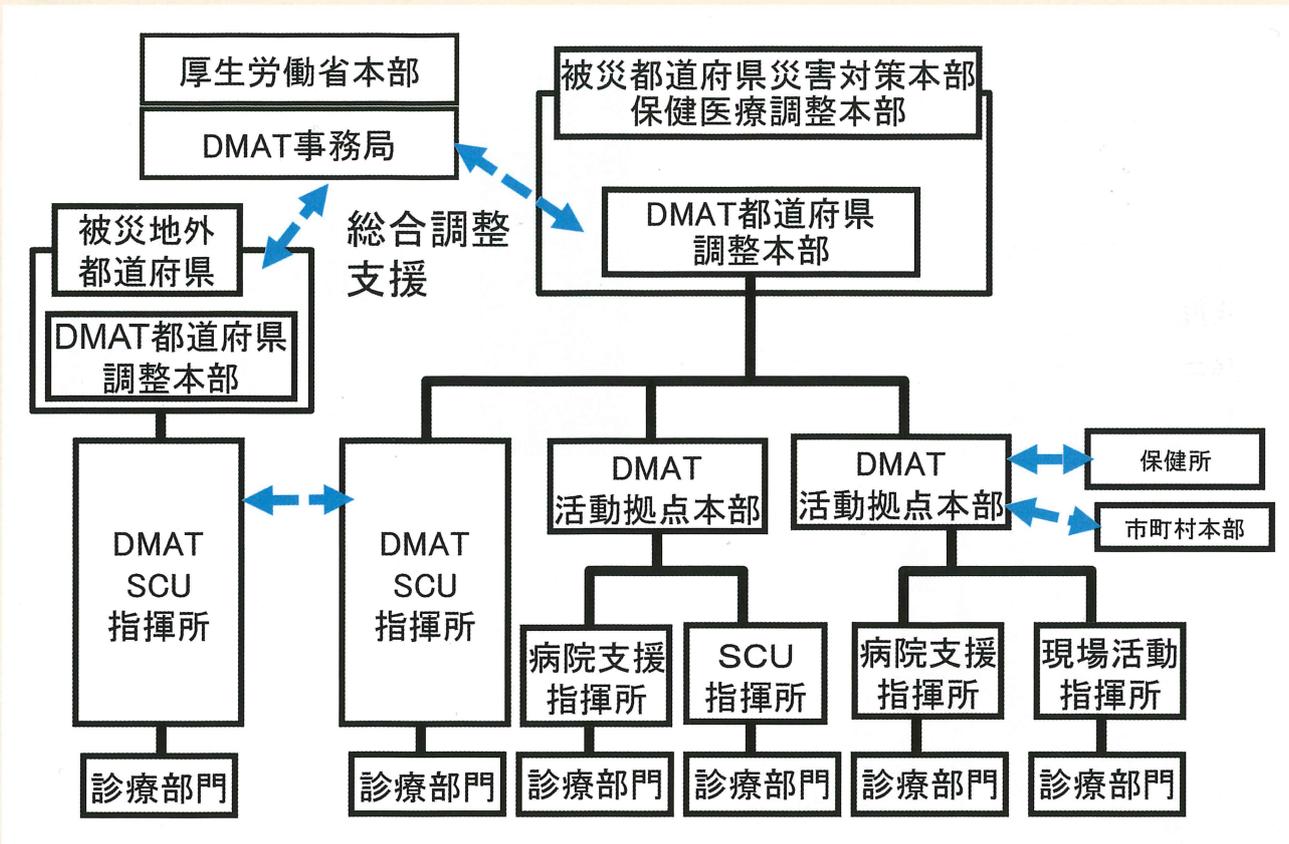
法人国立病院機構などにより策定された防災計画などに基づく。DMMATの派遣は被災都道府県が非被災都道府県に対し派遣要請を出すことに派遣が実施される。また非被災都道府県から派遣要請が出なくても厚生労働省が緊急の必要性があると認められた時は派遣要請を出せる。DMMAT1隊あたりの現地での活動時間は概ね7時間以内を基本とする。

### DMMATの指揮命令系統

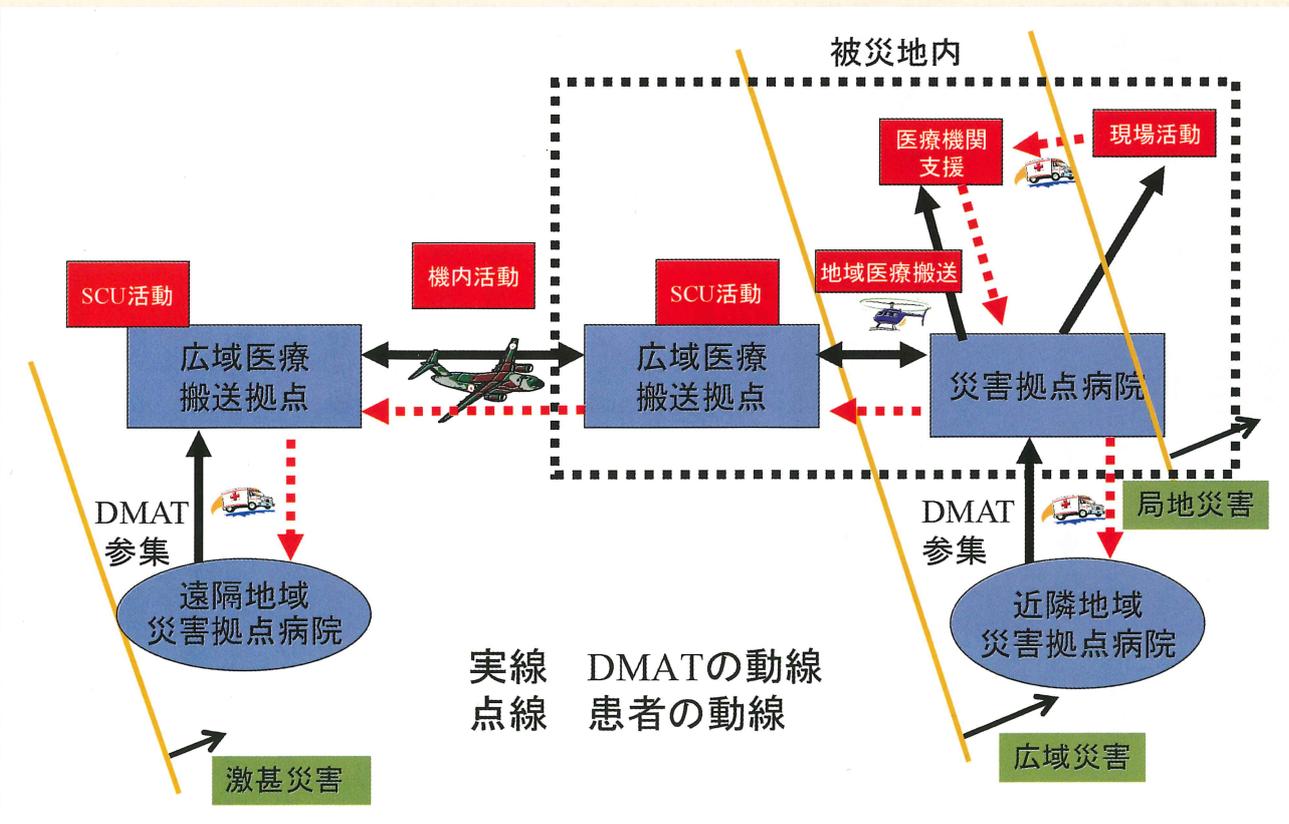
小さな医療チームが集合して組織的に活動するためには図1に示すような明確な指揮命令系統と情報共有が必須となる。(図1)本部は地域を統括、指揮所は医療現場を統括する。DMMATは被災都道府県に入った後は、被災都道府県の災害対策本部保健医療調整本部とDMMAT調整本部の指揮下に入る。実際には二次医療圏ごとの活動拠点本部等の指揮下で活動する。

### DMMATの機能・任務

- 被災地域内での医療情報収集・分析発信・調整などの本部機能
  - 被災地域内でのトリアージ・応急治療・搬送
  - 被災地域内での医療機関、特に災害拠点病院の支援・強化
  - 航空搬送拠点臨時医療施設(ステージングケアユニット・SCU)における医療支援
  - 広域航空搬送におけるヘリコプターや固定翼機への登場医療チーム
  - SCUへの搬送あるいは近隣への地域医療搬送
- DMMATの活動は災害の種類・規模により優先順位が変わる。(図2)



(図1) 広域災害時DMATの指揮系統例 SE-199号.indb (i-s-l.org) 24P図3  
[http://www.i-s-l.org/shupan/pdf/SE199\\_4\\_open.pdf](http://www.i-s-l.org/shupan/pdf/SE199_4_open.pdf)



(図2) DMATの活動の規模 SE-199号.indb (i-s-l.org) 25P図5  
[http://www.i-s-l.org/shupan/pdf/SE199\\_4\\_open.pdf](http://www.i-s-l.org/shupan/pdf/SE199_4_open.pdf)



神経病理研究所 副所長  
神経学会指導医・認知症学会指導医・  
プライマリケア学会指導医

## 金田 大太

うつ症状で発症し歩行障害が進行、多発性脳梗塞を認めた86歳女性

### ◆ 症例

享年86歳女性

### ◆ 病歴

夫の死去後、うつっぽくなっていたことには気付かれていた。娘・孫が近居だったが、抑うつ・被害妄想的な言動から家族関係が悪化し、68歳で豊橋に転居。希死念慮には気付かれないが落ち込みと被害妄想的な言動あり、メンタルクリニックに通院開始。その後少し元気になり、バス旅行など自分で行くようになっていた。

また自力で歩いて買い物・病院へ通院できていた。

74歳のとき「体が動かない、おかしい」と自覚し救急搬送。脳梗塞の診断。リハビリ転院、足に少々マヒが残ったが当初は自力で歩いて買い物・病院へも通院できていた。退院後、転んでけがをするようになり、自分で出歩くのが怖くなり毎日楽しみにしていた福祉センターのお風呂に行かなくなった。その直後から、料理好きだったのに「みそ汁の作り方がわからない」、「トマトのむき方がわからない」と料理をすることができなくなり、水も飲まなくなってきた。

76歳 家族旅行に行き、自分で歩くことはできたが無表情でベッドで寝てばかりいた。その翌月、夏の暑いときに一日飲まず食わずでベッドに寝たままになった。熱中症、うつ傾向と摂食低下で前医に入院となった。うつ病、パーキンソン症候群として治療を受けたが発語・体動なく、自発行動もない寝たきりの状態となった。77歳から誤嚥が増えた。

78歳 特養に入居。開眼せず、発語

は全くない状態。

85歳 経口摂取困難、喀痰排出困難にて当院入院。86歳まで誤嚥性肺炎を繰り返して死亡。

### ◆ 病理所見

脳重101g。基底核・大脳深部白質から脳梁・大脳脚・脳幹に時相の異なる小梗塞巣が散在し、白質の強い粗鬆化。大血管は肉眼的には有意な動脈硬化性変化を認めない。大脳の広範囲に髄膜血管、皮質内の血管平滑筋細胞の断裂と粒状の陽性構造物。電顕にて顆粒状のオスミウム濃染構造物と考えられた。平滑筋が消失し膠原繊維のみに置き換わる所見も目立つ。深部小血管周囲の石灰化を強く認め淡蒼球の石灰化が顕著。側頭極は全体に組織の粗鬆化はあるが髄鞘脱落は軽度である一方、GFAP陽性のアストロサイトの増加を認めた。

その他の老年性変化は軽度の嗜銀顆粒性変化(stage I)。その他CERAD 0 Thal A 神経原線維型変化、NFT Braak 2、Lewy小体病理、LATE-INC (TDP-43)、アミロイドアンギオパチ

1を認めなかった。

特徴的な血管病理所見より、CADASIL (cerebral autosomal dominant arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy)が疑われた。遺伝子検査にてNOTCH3遺伝子のエクソン4に遺伝子変異を認めた。

### ◆ 考察

CADASILは、主に脳の細い血管が障害されて脳梗塞が起こることにより症状が出ます。脳梗塞を繰り返すことによって体が動きにくくなったり、認知症になったりします。また、多くの患者さんは頭部のMRI画像で白質病変と言われる異常が認められます。これまで色々な研究がされてきましたが、NOTCH3遺伝子の異常からCADASILの症状が起きるメカニズムに関してはまだよく分かっていません。

### ◆ 結語

死後の病理検査にて、確定診断をつけることができました。貴重な篤志をいただきました患者様、ご家族様に改めて御礼申し上げます。

# 第22回 全国福祉村サミットでの実践発表



10月9日から10月10日にかけて、北海道札幌市 札幌グランドホテル・札幌ガーデンパレスにて第22回全国福祉村サミットが現地とオンラインの両方で開催されました。今回の開催テーマは「アフターコロナ その先の未来に向けて、法人経営を考える」でした。

初日には、代表法人さわらび会の山本孝之理事長より、開会の挨拶があり、その後特別講演として、元北海道日本ハムファイターズ、野球解説者の岩本勉氏から「野球が教えてくれたこと～野球心～」で講演がされました。

二日目に、さわらび会特別養護老人ホーム第二さわらび荘の東郡が、「ICT活用による業務効率化について」と題し、コンピューター等の情報通信技術を活用して施設間で利用者や患者の情報を共有することで、利用者や患者にあったより良い介護サービスを提供し、また介護業務の効率化を目指すという内容を報告しました。(東郡)



## 全国福祉村サミットとは

2001年にさわらび会理事長の山本孝之が全国で高齢者、障がい者、児童等の事業を複合的に実施する大規模社会福祉法人に呼びかけ、互いに共通する経営課題や今後の在り方について意見を交わす場として、代表法人のさわらび会をはじめとして全国の20法人で毎年開催されています。

ここ3年は、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、オンラインでの開催となっていましたが、今年は、北海道の社会福祉法人 黒松内つくし園が担当され、現地集合とオンラインでのハイブリッドで開催される事となりました。

# 特集

## 第42回さわらび文化祭 秋陽展

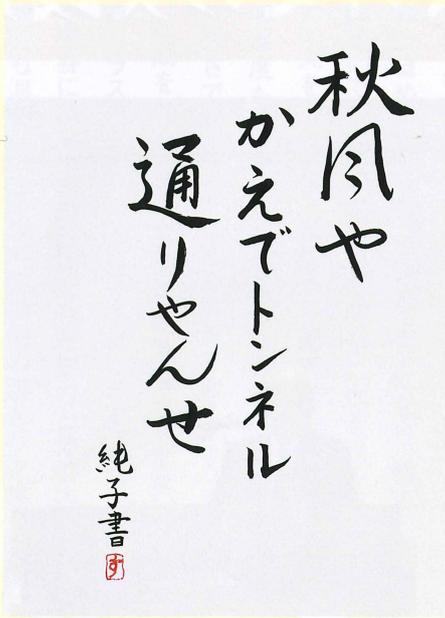
### 優秀作品 誌上作品展

10月27日、山本孝之理事長・山本ゆかり専務理事による秋陽展審査が行われ、写真部門・書道部門・絵画部門・手工芸部門・陶芸部門の部門毎より特選、入選の選出を行いました。  
選出された作品は、シユゲムロビーにて10月31日～11月9日の間展示され、特に11月3日の文化祭では多くの方にご覧いただきました。

また、今年の8月に親子福祉体験講座を開催した際、福祉作文コンクールの募集を行い、多数の方の応募がございました。その中より最優秀賞2点が選ばれましたのでご紹介いたします。

#### 書道部門

**特選** 「秋を待ちて」  
大河内 純子さん(若菜荘利用者)



#### 入選

「秋晴」 岡 知子さん  
(グループホーム カサデヴェルデ利用者)



#### 入選

「流星」 平山 昭一さん  
(フェリス福祉村利用者)



## 第十三回 福祉作文コンクール

#### 小学生部門

### 「夏休み親子福祉体験講座」



豊橋市立磯部小学校  
三年 船瀬 月伽

手話を初めて知ったのは、ようち園の頃でした。同クラスの子のお母さんが手話が必要な方で、その方から手話を教えてもらう機会があつて、その時にきょうみを持ちました。それから何年もたつて、あいつトピアで手話体験こう習会があるとお母さんから聞き、さんかすることにしました。つづけて、福祉村で行われた「夏休み！親子福祉体験こう座」にもさんかして、手話で自己しようかいができるようになります。とてもうれしかったです。高れい者ぎじ体験をした時には、お年寄りが体を動かすのはどれだけ大変かを知ることができました。

私の家の近くにおじいちゃんとおばあちゃんが住んでいます。おじいちゃんが高れいなので、私はいくつか心がけていることがあります。一つ目は、さがし物があつたら一緒にさがすことです。この前は、ほちょうきなどの大事な物をなくしてしまい、部屋中さがしたけれど見つからなくてとても困っていました。その



「新聞ちぎり絵」

西口住宅高齢者生活相談所  
なんじゃもんじゃ一同



「十二支」

平木場 郁央さん(明日香利用者)



絵画部門

入選

「太陽」

中神 國弘さん(明日香利用者)



入選

「花火」

辻 勇二さん(明日香利用者)



時に私のお父さんが  
「大事な物をしまう小物入れを作ってみたらどうか  
な。」

と、アドバイスをしてくれたので空き箱で作ってみま  
した。箱には大きな文字で「ほちようき」と書いてプ  
レゼントしました。それから家に遊びに行くたび  
チェックしていますが、その箱をちゃんと使ってくれて  
います。おじいちゃんの困りごとがなくなつて良かつ  
たです。二つ目は、外食する時は手をつなぎながら  
ゆつくり一緒に歩くことです。おじいちゃんもだんだ  
ん足が上がらなくなつてきているので、負たんがかか  
らないように、かいだんではなく手すりを持ちなが  
らスロープを使って店内に入ります。食事が終わって  
帰る時はイスから立ち上がる時に転ばないように、  
となりで支えています。おなかがいっぱいになったお  
じいちゃんは、いつもよりもつとゆつくり歩きます。私  
はペースを合わせます。三つ目は、読みづらい文字を  
大きな声でゆつくり読んであげることです。たとえ  
ばクーラーのリモコンの数字。ひょうじされている数  
字は大きいのですが、おじいちゃんにとっては見づら  
いようで、せつてい温度を指さしながら

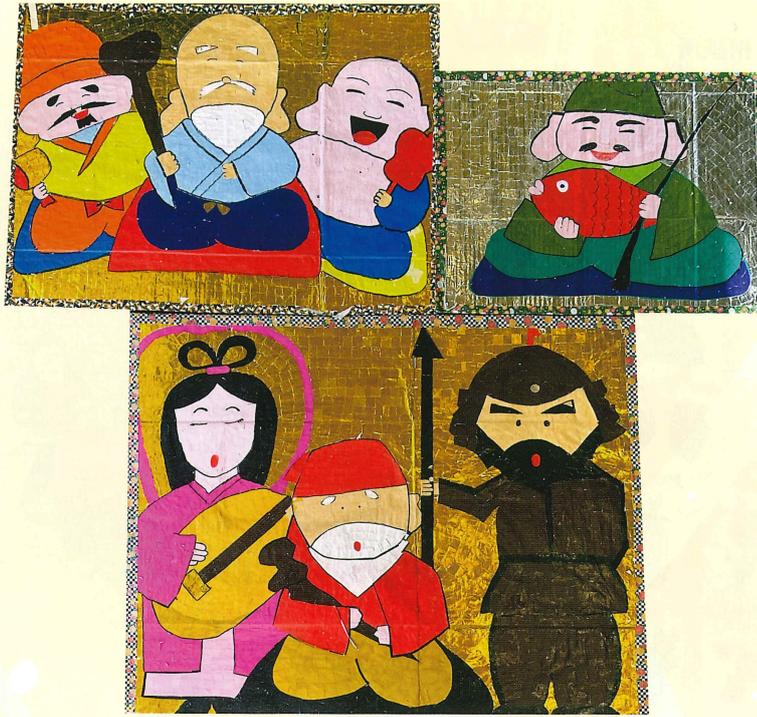
「何度になつてる？」

と私に聞いてきます。私は自分が大きい文字や数字  
だと思つていても、お年寄りの方には見づらいことも  
あるということを知つてから、読みづらそうにしてい



特選

「貼り絵 七福神」 金子直さん  
(グループホームカサデヴェルデ利用者)



入選

「カラフルなさわらびマーク」

福祉村病院介護医療院5階 利用者・職員



介5

入選

「御所ぐるま」

岩田 友子さん(フェリス福祉村利用者)



◆中学生部門



最優秀賞

「パレット」

豊橋市立北部中学校  
二年 川島美羽

るものをかわりに読んであげたりしています。耳も遠いので、ゆっくり大きな声で耳元で話します。私は福祉体験こう座を通してたくさんの方の事を知り、とても勉強になりました。ありがとうございます。私はこれからも心がけている三つのことをつづけていき、手話をもっと学びたいと思っています。

私は、今回の夏休み親子福祉体験講座で大切だと思ったことが二つあります。

一つ目は「努力」です。なぜそう思ったのか。理由は一つです。開会式の時に、「リハビリは辛かった。」というお話がありました。でも、「辛」という字に「一本の棒を付け足すと「幸」になります。その一本の棒には、「努力」という意味があると私は今回のお話を聞いて思いました。リハビリが辛かったことには、変わりありません。でも、その先の未来には「必ず幸せが見つかるんです。努力は必ず報われるとは、このことなんだと今回のお話を通して気づき、更に大切さにも気づきました。

二つ目は「笑顔」です。なぜそう思ったのか。理由

陶芸部門



「やさいばたけ」  
鈴木 良江さん（しろがね利用者）



入選 「おちよこ」

河合 宏幸さん（あかね荘利用者）



入選 「辰」

布施 久子さん（若菜荘利用者）



は一つです。私は若菜荘にて手話体験をしました。早速ですが、私は若菜荘に行つてすぐにとある変化に気づきました。それは「マスク」です。マスクの口部分が見えなくなったのです。でも理由はすぐに分かりました。コロナ前は、相手の口の動きを見て、相手は何を話しているのかを判断していたんだと思います。でも、コロナが流行し、マスクをつけるようになり判断が難しくなりました。そこで「手話」です。でも絶対に全員ができる訳ではありません。そこで私は「笑顔」の大切さに気づきました。聴覚に障害があり、会話ができなくても心は繋がつてくれます。私は気づきました。私が手話を少しできた時の教えてくれた方の笑顔は素敵でした。今でも覚えています。私も自然と口角が上がりました。嬉しかったです。なぜなら心は繋がつてると実感したからです。

今回私が、大切だと思ったことは、自分の将来、そして未来に役立たせていきたいです。

私は将来、福祉系の仕事に就きたいと考えています。私も、「笑顔」が素敵で、元氣と勇氣が届けられる素敵な大人になりたいと、今回の夏休み親子福祉体験を通して思いました。

「みんなの力で、みんなの幸せを」この言葉を忘れずに、明るい毎日を過ごし、明るい未来を自分で描いていきたいです。

## RUN伴

～さわらび荘関連施設～

10月28日、愛知県認知症グループホーム連絡協議会主催のRUN伴に参加しました。さわらび荘、さわらびデイ、常盤、白珠の利用者様が応援に参加され、白珠からはランナーとしても参加しています。(鳥居)

～医療法人さわらび会～

医療法人も参加させていただきました。認知症の方がしあわせに暮らせるまち・豊橋を応援する病院として、今後も地域の皆さまに貢献してゆきたいと願っております。

(加藤)



## 「おうちに帰ろう」模擬訓練

～特別養護老人ホームカサプランカ～

10月14日、東部地域包括支援センター主催認知症行方不明者捜索模擬訓練に参加しました。つじが丘町内会の方々、地域に携わる方が多く参加していらっしゃいました。

3グループに分かれ行方不明者の特徴を確認し、捜索しました。外見だけでは認知症の方かは判らず、困っている様子があればためらいなく声をかけること、ファーストコンタクト等、施設で働いているだけでは得ることのできないことを教えていただきました。認知症の方の早期発見、保護に繋がるよう協力させていただきます。(小林)



## 研究発表をしました

～障害者支援施設 珠藻荘～

10月20日、東海北陸地区身体障害者施設協議会 職員研究大会2023愛知大会へ珠藻荘 小池由希子、岩水友美が「虐待防止の取り組み」どんな時でも優しい気持ちで」の発表をさせていただきました。

発表の内容は、職員の方々に業務中少しでも心のゆとりを持つていただくために今年度、虐待防止委員会で話し合い常に職員が身につけている業務用携帯へ定期的に月に2回「優しい言葉

「優しい言葉」がけ」標語の配信を行う取り組みの報告をさせていただきました。(岩水)



～医療法人さわらび会～

10月20日に開催された「東三河パーキンソン病フォーラムWEBセミナー」にて、リハビリテーション部が講演をさせていただきました。(加藤)

## 職場体験学習と就労実習の受け入れ

～障害福祉サービス事業所 明日香～

10月16日～27日の期間にて、くすのき特別支援学校の生徒の実習の受け入れを行い、今年度は3年生1名が就労継続支援B型にて、2年生3名が生活介護にて作業実習を実施しました。皆さん、真剣に作業に取り組まれています。近年、特別支援学校の学生の日中一時支援の受け入れや見学希望が増えてきています。ご本人、ご家族の希望に添えるようしっかりと支援を行ってまいります。

また、10月18日～20日の3日間、高豊中学校の2年生1名が職業体験を「小麦の奴隷」にて行いました。お店のパンに興味を持っていただき体験を希望されたとのことで、3日間は製造の手伝いや接客の仕方を学んでいただきました。

これからも積極的な実習等の受け入れを行い、明日香を知っていただけたらと思います。

(安田)



# 行事報告

## ～障害者支援施設 珠藻荘～

10月18日から10月23日にかけて5年ぶりにバスハイクとしてイオンモール豊川へ10名の利用者様が行かれ、食事と買い物を楽しみました。(岩水)



## ～軽費老人ホーム 若菜荘～

10月24日に、外出行事でのんほいパークに行ってきました。

10名の入居者様が行かれ、動物園を回る班と、植物園を回る班の2班に別れて行動したので、自分が行きたい場所が回ることができたと入居者様も喜ばれていました。(岩水)



## ～障害福祉サービス事業所 すみれ～

10月19日にすみれで収穫したさつまいもを使用して芋餅を作りました。芋をたくさん使った生地を丸めたり、ホットプレートで焼く作業を利用者様と行いました。たれを付けた餅を美味しく召し上がっていました。(高瀬)



## ～グループホーム フジ～

9月29日、G H フジは運営推進会議を開催し、その中で地域と考える防災訓練のお話を地域の方から伺いました。実際に防災グッズも見せていただき、普段からの備えが大切だと学びました。(白井)



## ～地域密着型サービス事業所 常盤～

10月25日に防災訓練を行いました。防災訓練後、地域の方をお誘いし、「非常食の炊き出し訓練」と「水消火器を使用した消火器の取り扱い訓練」を行いました。(藤原)



## ～障害福祉サービス事業所 明日香～

10月12日、明日香農園にてさつまいもの収穫、16日、田んぼにて稲刈りを行いました。明日香利用者様をはじめ、福祉村保育園の園児さん、若菜荘の入居者様と両日ともに30名を超える参加者となり、皆さん楽しく収穫を行うことができました。今年はずつまいも、お米ともに昨年を上回る収穫量となりました。(古橋)



## ～医療法人 社会福祉法人 合同～

10月21・22日に開催されたええじゃないか豊橋まつりのメインイベントのひとつ「総おどり」に今年もさわらび会が参加しました。総おどりの開催された21日は今年一番の冷え込みとなりましたが、4年ぶりの通常規模での開催ということで駅前通りは大盛況、さわらび会の180人のスタップも肌寒さを吹き飛ばし、熱く楽しく踊りました。(大島)



# 良い加減の暮らし

谷さゆり

## やかんと軍手

今年の秋は寒暖の差が「絶叫系コースター」並みの激しさでした。「春が来た」と勘違いした河津桜やソメイヨシノが開花してしまったり、桜花と葉桜が同じ枝にあたりと、気候の乱れを感じます。今年は暖冬になると言われていましたが最近は何となく冷え込むようになり、特に朝は寒いです。朝目覚めると薬缶に水を汲みコソコソに火を入れます。薬缶から蒸気が上がり台所の温度も湿気を含んだ柔らかな温かさに変わり寒さで震えていた体も解れてゆくようです。白湯を作るため15分程度沸騰させた後、耐熱ガラスのポットに入れて冷まします。ポットから湯呑に白湯を注ぎゆっくりと飲むと体の内側からも温まってきます。冬の朝の温もりを感じる時間です。

と、優雅に朝の白湯の作り方を書きました

が、私は鉄瓶を使っているので朝一番で水を汲む時は、「冷たすぎ〜」と存知の通り鉄は熱伝導率が高いので、容赦なく私の手から熱を奪い取ります。で、重量のある鉄瓶に水を汲んでゆくと筋トレ状態です。また沸騰したお湯を耐熱ガラスのポットに移すときは「薬缶、熱すぎで重すぎ」という事態になるのです。布巾で取手をつかんでお湯を注ぐ時でも鉄の熱さが襲ってきます。布巾を厚くしてみると丸い取手はつるんと滑り、やけどの危険が高まりました。ならば、と家にある鍋つかみで挑戦したのですが生地が厚くて上手く取手をつかめず断念しました。もしうっかり手が滑ったら…熱湯と共に重い鉄瓶が足に直撃する場面を想像すると恐ろしすぎます。いかに安全にポットにお湯を注げるかと思案する中、何となく良さそう、と目についたのはキャンプ用品の耐熱軍手。ダメ元で一回使ってみたら「熱くない」「軍手なので取手をしっかりと掴む事ができました。それ以来、比較的安全にお湯をポットに注ぐ事が出来るようになりました。ただ弱点もあります。耐熱軍手に水やお湯が直接かかってしまうと濡れてしまい熱を伝えやすくなるのです。そこで熱い時だけ使う事にしました。結果は上々。今のところ安全に鉄瓶の使用ができています。

Vol. 188  
relay column

さわらび会のわ

さわらび地域包括支援センター  
主任介護支援専門員

伴茜



私には20歳の息子がいます。スポーツが好きで小学生の時はソフトボール、中学に入るとソフトテニスを始め、今もチームに所属して続けています。

高校生の時には全国大会を目指して毎日頑張っていたため怪我が絶えず、整形外科によくお世話になっていました。担当してくださったりハビリの先生は年齢が近かったためか話しやすく、怪我を治すことはもちろん、怪我をしにくい体づくりと一緒に考えてくれる方で、親子共々とてもお世話になりました。

進路を考えるようになったとき、リハビリの先生になりたいと言いました。自分がサポートしてもらったように、自分もスポーツを頑張っている子どものサポートをしたい、と理学療法士になるための大学に進学しました。大学に入ってから、勉強は大変そうですがサークル活動やバイトにテニスと充実した毎日を過ごしているようです。先日は初めての病院実習があり実際の現場を見て刺激を受けたようでした。これからも大学生活を楽しみながら、いろいろな経験をjして視野を広げてほしいと思います。

息子に理学療法士になりたいという夢を持たせてくれた先生に感謝です。そして、同じように憧れられるリハビリの先生になってもらいたいなと思います。

みなさん、こんにちは。私はレーテイゴック ヒエウと申します、レーテイと呼んでください。看護師として福祉村病院で働いています。これから、私のふるさとを簡単に紹介させていただきます。

私の出身はニントゥアンです。こちらは困難を乗り越える人や温かい心を持った人々が生まれたところです。熱帯モンスーン気候帯であり雨は少ないし、風が強いし、太陽の光が降り注ぎます。乾季は12月から8月まで晴れますが、雨季9月から11月です。この領土は高い山に囲まれて、東側は海に面しています。

ニントゥアンは水が貴重で、みんなが雨、海が好きになります、田畑にいつも水が足りることを願いながら雨が降るのを待ちます。

私のふるさとのビーチは美しく穏やかです。残念ですが、めちゃくちゃ有名な海とは言えませんから、観光客はまだ知りません。だからこそ海はとてきれいで静かです。地元民の楽園のようです。

主要な祝日には、山地の人から平地の人まで、あらゆる地区からコミュニケーションまでの

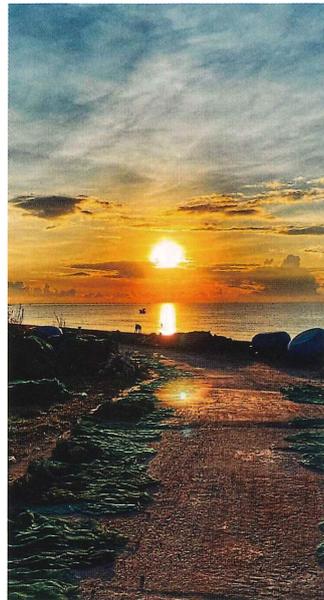
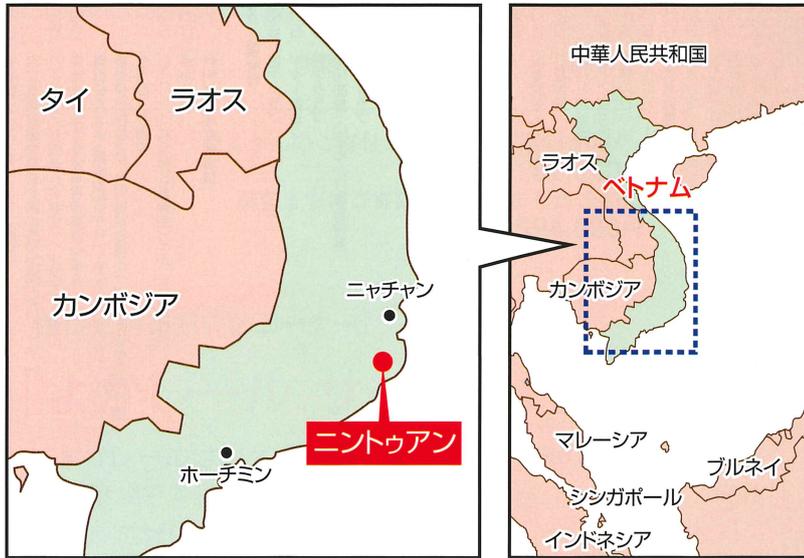
# 私のふるさと

福祉村病院 E.P.A 看護師  
レーテイゴック ヒエウ

出身 ● ベトナム ニントゥアン  
学歴 ● カントー医科薬科大学  
資格 ● 看護師



ベトナム ニントゥアン周辺の主要都市



人々がニントゥアンのビーチに集まって、出会います。昔、私の家族もそうでした。姉妹たちの美しい思い出は海とよく結びついていました。(続きは次号にて)



第115回 さわらびキッチン  
栄養士のつぶやき  
障害者支援施設 珠藻荘 栄養士 中野美菜

12月に入り、街がイルミネーションに彩られる季節です。今日はクリスマスにまつわるお菓子について書いてみます。

クリスマスといえば、まずクリスマスケーキを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。定番の白い生クリームにいちごをのせたケーキ以外にも、近年では様々な種類があります。ロールケーキを、切株に見立てて飾り付けたケーキは「ブッシュドノエル」と呼ばれます。フランス生まれですが、表面をチョコレイトで覆った「ザッハトルテ」は、オーストリア生まれです。チーズケーキもアイスクリームもクリスマス仕様に飾り付けがされたものがあり、見ているだけでも楽しいです。

クリスマスケーキだけではなくありません。日本でもよく見かける「シトローレン」は、ドイツ生まれです。ドライフルーツやナッツをたっぷり練りこんで、表面に砂糖をまぶしたものです。イタリアには「パネトーネ」と呼ばれるものもあります。これらは、クリスマスの4週間前に用意し、クリスマスを心待ちにしながら食べるそうです。砂糖をたくさん使ったり、水分をできるだけ少なくしたりすることで長期保存ができるようになっています。

甘いお菓子について書いてきましたが、クリスマス前にはツリーを飾ったり、プレゼントを用意したりする楽しみもあるでしょう。その時間も含めて、素敵な時間をお過ごしください。



### ◆病院システム

- 10月10日 看護師長会議
- 11日 看護技術科学大学にて学生教職員の健康管理、健康相談を斎藤友紀子医師が行った
- 17日 システム幹部会
- 18日 衛生委員会
- 18日 病院幹部会(理事長ゆかり副理事長参加)
- 24日 看護師長会議
- 25日 看護部主任会議
- 25日 感染対策委員会
- 25日 看護技術科学大学にて学生教職員の健康管理、健康相談を斎藤友紀子医師が行った
- 26日 医療安全委員会
- 28日 ラン伴豊橋NCC理事長ゆかり副理事長参加)

### ◆わらびの白珠給養

- 10月10日 福祉村ササシト(大田施設長 渡邊 白井秀 日下郎 札幌 Web)10日
- 11日 愛知県社会福祉協議会若狭担当若狭研修(渡邊)Web
- 13日 介護予防大会打合せ(松下)市役所
- 16日 包括業務打合せ(高柳)Web
- 17日 認知症サポーター養成講座(松下 伴 石黒 玉川 校区市民館 主任ケアマネ 更新研修運営(白井秀)刈谷
- 19日 生活介護支援サポーター養成講座修了式(大田施設長 松下 伴 石黒 青陵地区市民館
- 23日 石巻老人福祉センター健康チカラ(白井秀 高柳 石巻老人福祉センター 包括ケア研修 伴)全県へ24日
- 24日 牛川下条自治会民生委員総会(松下 石黒 牛川校区市民館 主任ケアマネ 更新研修運営(白井秀)刈谷
- 25日 社会福祉士会議(高柳 石黒)市役所
- 26日 サラ相談窓口(白井秀 エムキャンパス 主任ケアマネ 更新研修運営(白井秀)Web
- 26日 地域支援事業推進研修修了Web
- 30日 主任ケアマネ更新研修運営(白井秀)刈谷
- 11月2日 ケアマネ茶話会(伴 星野 安藤)つじが丘地域福祉センター
- 4日 洗心会(伴 洗島 公民館)

### ◆第一わらびのサカサデローサカサデウルカサデランカサデ夫伯ッ

- 10月6日 日本介護支援協会オンラインセミナー(山本施設長 Web)
- 9日 全国福祉村ササシト(山本施設長 東部)北海道へ10日
- 9日 グループホームカサデウルカサデ運動会
- 14日 子ども食堂(心)
- 16日 グループホームの誕生会
- 18日 カサデウルカサデ家族会 サママイモ収穫
- 20日 老人ホーム 河部施設長会 養護老人ホーム施設長会議(山本施設長 新城市)
- 21日 日本認知症サポーター全国大会東京大会(山本施設長 東京へ22日)
- 23日 第一わらびの仲間関係者等連絡会運営委員会(山本施設長 豊橋)
- 30日 第一わらびの仲間関係者等連絡会運営委員会(山本施設長 豊橋)
- 10月11日 シェアードーム8回
- 10月11日 認知症介護実践者研修説明会(植田)
- 12日 法人防災会議(加藤)
- 16日 防火設備点検
- 17日 電気設備点検
- 27日 デイ会議
- 文化祭実行委員会(植田)

### ◆珠蔭荘

- 10月11日 珠蔭荘経営会議
- バスツアー外出(利用者ら参加)浜名湖カーテンパー

### ◆感染症リスクマネジメント委員会

- 13日 自立支援協議会連発(鳥居 玉城 あじトピア
- 18日 バスハイク(利用者ら参加)イオモール豊川
- 19日 東海北陸地区身体障害者施設協議会
- 職員研究大会(高柳施設長 片山 岩水 小池 均)へ20日
- 野依伊古部駐在所同連絡協議会(山田 野依 校区市民館 生活向上委員会)
- 23日 バスハイク(利用者ら参加)イオモール豊川
- 25日 利用者支援全体会議

### ◆フリス福祉社

- 10月10日 習字クラブ
- 11日 ギター歌レク
- 13日 習字クラブ
- 13日 採用面接(山本ゆかり専務理事)
- 19日 習字クラブ
- 24日 習字クラブ
- 25日 誕生会
- 27日 文化祭実行委員会
- 27日 メンタルヘルスケア研修
- 27日 つくしの会(山本ゆかり)

### ◆若菜荘

- 10月10日 図書館外出
- 12日 口腔体操
- 12日 青ハト地域巡回
- 13日 ビデオコンパニ
- 20日 理由の日
- 24日 のんほいパーク外出
- 25日 大清水図書館外出
- 26日 イオンショッピング
- 27日 ボランティア運営委員会(北風施設長)誕生会
- 11月2日 青ハト地域巡回

### ◆あかね荘

- 10月6日 愛知県相談支援事業所初任者研修ササシト打合せ 社会福祉会館(木村)
- 9日 全国福祉村ササシト(光畑施設長 高橋 村越 佐手)Webへ10日
- 9日 男性支援協議会
- 10日 合同班会議
- 10日 自立支援協議会 就労支援スキルアップ連絡会(鈴木 巴 木村)
- 11日 嘱託医療
- 12日 知的障害者エス役員会(鈴木 巴 木村 曾田 佐志)Web
- 13日 自立支援協議会 連絡会議(鈴木 巴)あかね荘
- 14日 語りへの会総会
- 17日 知的障害者講習会(曾田 佐志)Web
- 17日 愛知県相談支援事業所初任者研修ササシト打合せ(木村)豊橋商工会議所へ18日
- 18日 自立支援協議会 就労支援専門部会事務局長(鈴木 巴)あかね荘
- 19日 成年後見権利擁護講座(曾田)あかね荘
- 19日 障害者の権利擁護研修(曾田)あかね荘
- 23日 男性支援協議会
- 24日 食生活改善委員会
- 25日 合同班会議
- 25日 口腔ケア助言指導
- 26日 成年後見権利擁護講座(曾田)あかね荘
- 訪問理由
- 女性支援協議会

### ◆明日香

- 27日 感染症対策委員会
- 27日 メンタルケア研修(白石 村田 伊藤) Web
- 28日 語りへの会総会
- 29日 知的障害者エス 秋期大会(鈴木 巴 木村 曾田 佐志)愛知(太字)シート
- 30日 食品衛生責任者実務講習会(伊藤 志保 健所)
- 31日 困窮事例対応研修(鈴木 曾田)刈谷産業振興センター
- 愛知県相談支援事業所初任者研修ササシト打合せ(木村)社会福祉会館
- 10月6日 食品衛生講習会(木次)
- 7日 家族会役員会
- 12日 クラブ活動家族会
- 12日 青ハト
- 13日 羊堀り
- 16日 自必会工賃日
- 17日 福刈り
- 17日 くすのき支援学校高等部実習生受け入れへ20日
- 17日 体重測定
- 19日 ケース会議
- 23日 くすのき支援学校高等部実習生受け入れへ27日
- 24日 回診日
- 27日 陶芸教室
- 11月2日 フライインダンス大会(名古屋)

### ◆すれホム

- 10月14日 誕生会
- 19日 世話人会議
- 10月16日 バス散歩(全公園)
- 18日 虐待身体拘束防止研修
- 25日 バス散歩(高師緑地公園)
- 25日 バス散歩(のんほいパーク)
- 27日 メンタルヘルスケア研修
- 30日 ハウケンおやつ作り

### ◆すれ

- 10月11日 球蔭荘交流会
- 19日 おやつ作り(羊堀)
- 24日 バス散歩(のんほいパーク)
- 26日 バス散歩(のんほいパーク)
- 31日 おやつ作り(ハウケン)
- 10月6日 在宅医療福祉部会議
- 10月6日 高師福祉部会議
- 9日 全国福祉村ササシトへ10日
- 10日 障害者福祉部稼働率向上戦略会議
- 11日 利用者らに寄り添う調整会交流イベント
- 12日 防災会議
- 13日 障害福祉部会議 Web
- 17日 防災会議
- 20日 障害者担当者会議 Web
- 24日 経営企画会議
- 25日 栄養士会議 Web
- 27日 さわらび大学
- 27日 文化祭実行委員会
- 31日 秋陽展審査
- 11月3日 作文コンクール準備
- 第42回さわらび文化祭

### ◆各施設共通

- 10月6日 在宅医療福祉部会議
- 10月6日 高師福祉部会議
- 9日 全国福祉村ササシトへ10日
- 10日 障害者福祉部稼働率向上戦略会議
- 11日 利用者らに寄り添う調整会交流イベント
- 12日 防災会議
- 13日 障害福祉部会議 Web
- 17日 防災会議
- 20日 障害者担当者会議 Web
- 24日 経営企画会議
- 25日 栄養士会議 Web
- 27日 さわらび大学
- 27日 文化祭実行委員会
- 31日 秋陽展審査
- 11月3日 作文コンクール準備
- 第42回さわらび文化祭

## さわらび会後援会寄附ご芳名

令和5年10月6日～令和5年11月5日

豊橋市野依町字西物草 1 2	家具の街ヨコモランド	10,000 円
豊橋市小池町 3 6 - 1	共和印刷 (株)	5,000 円
豊橋市入舟町 2 1	(株) 三恵薬品	10,000 円
豊橋市駅前大通一丁目 5 5 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000 円
豊橋市野依町字山中 1 9 - 1 4	福祉村病院職員有志	1,000 円
豊橋市東雲町	梅村秀順氏	14,000 円
新城市南畑 7 4	光田屋 (株)	30,000 円
	匿名氏	1,000 円

たくさんのご寄付ありがとうございました。

計 **81,000円**

現在までにご寄附いただきました金額は

**898,594,696円**

### ●福祉用具紹介のコーナー

## 「よかレール サイドタイプ」

よかレールは据え置き型ですりで、5段階の高さ調整ができ幅広い使い方に対応しています。スチール芯材に樹脂をコーティングした、公共施設などでも採用されている材質で強度と握り心地を両立しています。初めからマットがついており、ベースの厚みは薄型の13mmで緑のゴムをスロープ状に取り付け、躓きにくさに配慮しています。(たまも荘障害者生活支援センター 鳥居)



販売価格:53,500円(税込み価格)

※介護保険のレンタル対象商品です

問い合わせ先:福祉サービス株式会社 0532-66-1011

問い合わせ先

福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

## 第42回さわらび文化祭 御礼



11月3日、文化の日にさわらび文化祭を開催いたしました。

大勢の方のご来場、誠にありがとうございました。

## 新米の販売を開始します ～障害福祉サービス事業所 明日香～



明日香では化学的に合成された肥料および農薬を一切使用しない自然農法を行っています。夏の暑い時期には毎日手作業で草取りを行ってきました。手間暇かけて大切に育てたお米「あいちのかおり」です。是非お買い求めください。(安田)

価格:1kg 1,080円(税込み)

白米と玄米を販売しております。

**問い合わせ先** 障害福祉サービス事業所 明日香

TEL:0532-46-6579

E-mail:asuka@sawarabi.or.jp



▲食ベチョクホームQR



▲食ベチョク  
明日香ページQR

## ＊お礼コーナー ありがとうございました＊

▼匿名希望の方より

衣類、毛布類(若菜荘)

# 秋陽展

優秀作品  
誌上作品展

写真部門



特選  
「鬼は外、福は内」  
宮崎 真理子さん(さわらび荘職員)



入選

「早春の見廻り」  
石井 隆さん(フェリス福祉村利用者)

## 編集後記

「冬はつとめて」清少納言の枕草子のとて  
も有名な一節です。澄んだ空気と青空と、  
山々の稜線が浮かび上がり、時には富士山  
もはつきり見える日も多くなりました。豊  
橋は2月の「鬼祭り」頃が最も気温が低く12月はまだ  
凍える寒さの日が少ないことが多いのです。霜は降りず  
朝露にキラキラと輝く植物は光に溶け込むような幻想  
的な景色が広がります。最も印象的だったのは大きく  
育った出荷間際のキャベツ畑。畑のキャベツ達に朝の光が  
降り注ぐとセラドン色の鏡が一斉に光を反射して輝いて  
いるのです。植物ではなく陶磁器のような鈍い光の束は  
とても柔らかく、でも太陽が昇ると消えてしまう不思  
議な光景に心を奪われました。今年は災害も多く台風  
や豪雨で各地に大きな被害と爪痕を残しています。ま  
たウクライナやガザで市民や国際支援組織が犠牲になっ  
た年でもありました。来年はより良い年となりますよう  
に。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。(谷)



医療法人・社会福祉法人  
**さわらび会**  
理事長 山本孝之

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501  
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天伯 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ ☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム ☎(0532)29-8180